

第3回 地方自治体水道事業の海外展開検討チーム 議事概要

【開催日時等】

- 開催日時：平成22年5月26日（水）17:15～17:45
- 場 所：総務省7階 省議室
- 出席者：渡辺総務副大臣、小川総務大臣政務官、逢坂内閣総理大臣補佐官、吉良外務大臣政務官、市川経済産業省大臣官房審議官（代理出席）、中尾厚生労働省大臣官房審議官（代理出席）、谷本国土交通省水資源部長（代理出席）、細田総務省大臣官房審議官

【議事】

- (1) 地方自治体水道事業の海外展開検討チーム中間とりまとめ(案)について
- (2) 質疑及び意見交換

【配布資料】

- 資料 地方自治体水道事業の海外展開検討チーム中間とりまとめ(案)
- 参考 地方自治体水道事業の海外展開検討チーム中間とりまとめ(案)（概要）

【意見交換（概要）】

- 既に着手した地方自治体以外の地方自治体が今後、海外展開するにあたってどのように導いていくのかが大きな課題。
- 特に中規模の地方自治体であれば、水ビジネスというより水道事業の海外展開をきっかけに相手国と様々な交流を進めていくことが十分に考えられる。
- 目指すべき方向としては、この中間とりまとめで基本的に異論はないか。
- コスト競争力が全くないと世界では通用しない。水道局を民営化した上で、コストを下げ、質を高め、そのノウハウを海外に持ち込むのが現実的ではないか。
- いわゆる単体技術の切り売りでは限界があり、運営・管理までを一体化して打ち出すことが重要。
- 相手国によって、公共サービス制度や文化が違っているので、相手国のニーズにあったものを日本がどのように提供できるかどうかを注意しなくてはならない。
- 成長戦略の柱の中に、新幹線や原発のインフラと同じように水道技術の海外展開ということも位置づける方向で、政府を挙げて取り組んでいきたい。